参 加 上 の 注 意 等

1. 本大会は、2019年度日本陸連競技規則並びに本記録会の申し合わせ事項によって行う。
   ・トラック競技のスタート時のコールは、イングリッシュ・コール（『On your marks』・『Set』）で行います。

2. 種目によってはエントリー数の関係で男女が一緒の場合があります。

3. 招集所は、100mスタート側第1ゲート外側脇付近に設けます。

4. 招集（コール）は次の通りとします。
   - コールは、本人が招集開始時刻から招集完了時刻までに、招集所にてナンバーカード・腰ナンバーカードのチェックを受ける。（腰ナンバーカードは日立陸協指定のものを受け取り、折り曲げずに右腰やや後方に着ける）
   - チェックを受けた後、競技場所に移動する。
   - 招集所では、スタートリストは掲載されないので、招集所係員に必ず申し出ること。
   - 選手はユニフォームを着用して、コールを受けること。
   - 招集所完了時刻までに、チェックを受けない競技者は棄権とみなす。
   - 招集所でチェックを受けない競技者は、競技場所に移動しない。

5. 記録会における走高跳以外のフィールド競技の試技は、3回とします。
   練習/最初の試技の高さについては、競技役員の指示に従ってください。（種別、天候などによって変更になる。）
   バーの上げ方は、5cmきざみとします。

6. トラック競技とフィールド競技の時間が重なる場合、トラック競技が優先されますが、その場合でも最終確認で点呼を受けない選手は棄権扱いとなります。点呼を受けてもフィールド競技のラウンド終了時に不在のときは当該ラウンドの試技はパス扱いとします。 ラウンド開始時に係員に報告もしくは、ラウンド終了までに戻ったときは係員に報告し、係員の指示にしたがってください。

7. フィールド競技おける留意事項について（2019年規則改正）
   - フィールド競技の試技時間は 1分 とする。

8. 受付で貸与された「ナンバーカード」（胸と背及び腰）は、競技終了後、外して係員に渡してください。

9. ナンバーカードの「A」「B」「X－（数字,ハイフン）」はプログラムには表示されませんので、招集（コール）の際は間違わないよう注意ください。

10. 競技中はスタンド下のピロティには選手、競技役員以外入らないようにお願いします。

11. 今大会は携帯・スマートフォン・パソコンから記録速報がご覧戴ける予定です。。
    下記QRコードを読み込んで戴くか、URLを直接入力し「特設（速報）サイト」よりご覧ください。

QRコード

特設サイト

URL

http://www.nextftp.com/hrk/

撮影に関するお願い事項（一般来場者、学校関係者、保護者のみなさま）

1. 撮影を行う場合、主催者より許可を得た報道機関以外はすべてスタンドの上から撮影を行ってください。
   ・報道機関の方は、受付にてビブスを受け取ってから撮影を行ってください。（競技場内はビブス着用）
2. 保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。
3. 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかるおそれのある全ての方向からの撮影・行動を禁止します。
   ・トラック種目のスタート時、フィニッシュ直後　・・・・・・　前方・後方からの撮影
   ・走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地前方（砂場正面）からの撮影
   ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影
   ・砲丸投　・・・・・・　競技者正面からの撮影
4. 選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っているときの撮影を禁止します。
5. 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。
6. 撮影の仕方が不自然な場合や盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影の内容の確認をさせていただく場合があります。
7. 競技運営上、競技役員の判断により上記以外に撮影エリアを設ける場合があります。
8. その他、上記の内容も含めて競技運営上の都合により（大会当日も含む）変更する場合があります。その際は、競技役員の指示に従ってください。

＊盗撮行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。

救護・応急処置に関する事項

1. 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は、近くの競技役員に申し出て救護室を利用してください。（看護師が常駐）
2. 競技会当日の競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行いますが、以後の責任はおいません。